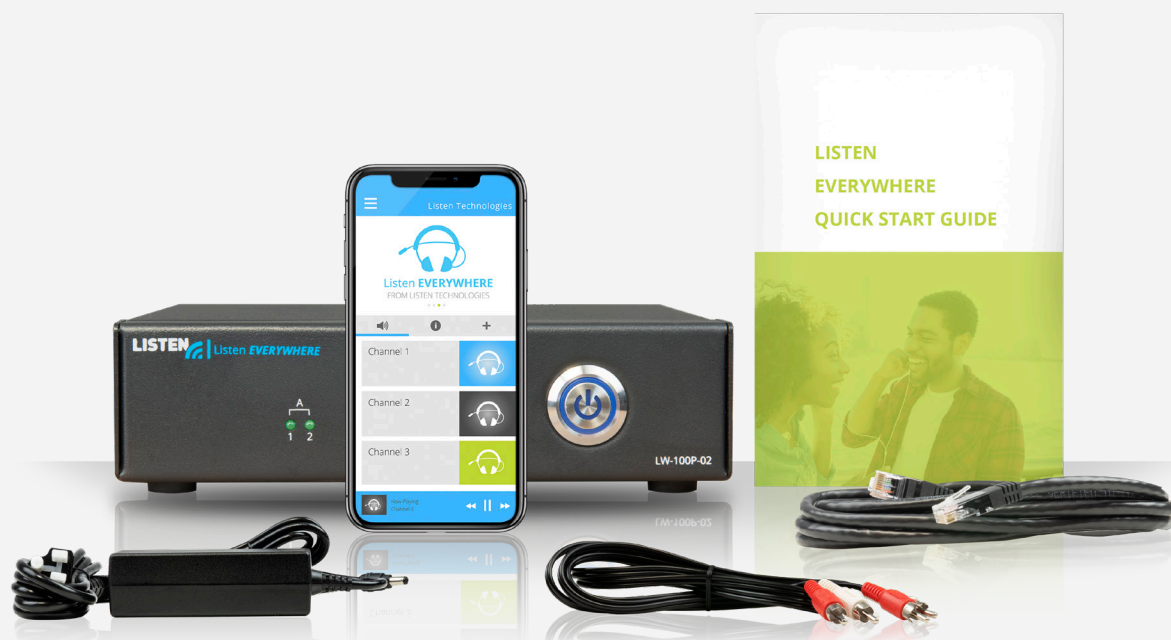


Listen EVERYWHERE



サーバー管理 インターフェース

日本語マニュアル

www.ListenEVERYWHERE.com

LISTEN
TECHNOLOGIES
www.listentech.com

導入

サーバー管理インターフェースは、Listen EVERYWHEREのサーバーのファームウェアでホスティングされたウェブアプリケーションで、ネットワーク管理者がサーバーのネットワーク設定を管理するのに用います。

サーバー管理インターフェースには、一般的なWindows PCまたはAppleのブラウザ、例えばMicrosoft Edge、Mozilla Firefox、Google Chrome、Opera、またはApple Safari、もしくはほとんどのモバイル端末のブラウザからアクセスできます。

サーバー管理機能

Listen EVERYWHEREのサーバーは、デフォルトでDHCPクライアントとして設定されています。そのため、接続先のネットワークから、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、ドメイン名サーバー (DNS) アドレス、およびその他の関連する設定パラメーターを取得します。このデフォルトのネットワーク設定は、ほとんどのネットワークでの利用に適しています。しかし、サーバーにローカルネットワークのIPv4ネットワーク設定を適用する方が好ましい場合、サーバー管理インターフェースを用いて固定IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、もしくは単一または複数のDNSサーバーを指定することもできます。

また、サーバー管理インターフェースでは、サーバーにDHCPサーバー機能を設定することもできます。これは、既存のルーターおよびDHCPサーバーが利用可能ではない状況で音声のストリーミングのみを目的としてスタンドアロンネットワークを作成する場合に役立ちます。DHCPサーバーとして設定された場合、サーバーは接続された全ての端末に対して、IPアドレスとリース時間を割り当てます。

サーバー管理インターフェースでは、以下のパラメーターの設定が可能です。

- ・インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) の設定の閲覧/編集
 - IPアドレスを自動 (DHCP) で割り当てるか固定で割り当てるか
 - IPアドレス
 - ネットマスク
 - ゲートウェイ
 - DNSサーバー

- ・動的ホスト構成プロトコルバージョン4 (DHCPv4) の設定の閲覧/編集
 - DHCPサーバーの有効化/無効化
 - IPアドレスの開始アドレス
 - IPアドレスの終了アドレス
 - リース時間



ステップ1 施設のサーバーの設定

Listen EVERYWHEREのサーバーを、添付の説明書に従って設定してください。サーバーを、Listen EVERYWHEREのWi-Fi音声ストリーミングに使用するローカルエリアネットワークに接続してください。サーバーが動作しているか、Listen EVERYWHEREアプリがインストールされたモバイル端末を使って確認してください。サーバーの下部パネルに印字されているサーバーIDとパスコードを書き留めてください。

設置、ネットワーク、およびWi-Fiに関するヒントは、Listen EVERYWHEREネットワーク設定技術ノートに記載されています。

<https://www.listentech.com/support/manuals/>

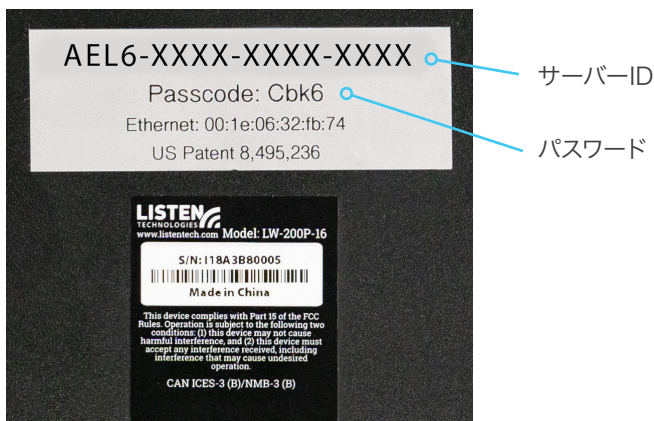


図1 : サーバーIDとパスコードが印字されているサーバーの下部パネル

ステップ2 ログイン

サーバー管理インターフェースにログインする方法は2つあります。方法1では、サーバーのIDを用います。方法2では、サーバーのIPアドレスを用います。

方法1 サーバーのIDを用いたログイン(推奨)

サーバーと同じネットワークに接続されたコンピューターまたはモバイル端末で、好きなウェブブラウザを立ち上げて、ブラウザのアドレスバーに以下を入力してください。

<http://<サーバーID>.<ドメイン>/admin>

<サーバーID>は、サーバーの下部パネルに記載されているIDで、「AEL」から始まりハイフンが含まれています。<ドメイン>はネットワークのドメイン名で、一般的には「local」または「localhost」となります。

括弧<>は含めないでください。ただし、サーバーIDとドメインの間のピリオド/ドットは必要です。図1のサーバーIDを用いた例は以下の通りです。

例: <http://AEL6-XXXX-XXXX-XXXX.local/admin>

数秒後、サーバーから応答があり、ログイン画面(図2A)が表示されます。ユーザー名には「admin」と入力し、パスワードにはサーバーのパスコードを入力してください(図2B)。

方法2 サーバーのIPアドレスを用いたログイン

デフォルトでは、サーバーはネットワークのDHCPサーバーからIPアドレスを取得します。このIPアドレスを確認するには、ネットワーク上のルーターまたはその他のDHCPサーバーにログインし、「AEL」から始まるサーバーIDとホスト名を目印に、サーバーを探してください。

もしくは、ネットワークスキャンツールを用いてIPアドレスを確認することもできます。サーバーは、サーバーID/ホスト名が「AEL」で始まり、MACベンダーはWIBRAINです。IPアドレスの確認には、以下のようなネットワークスキャンツールが使えます。

- ・ Net Analyzer (AndroidまたはiOS)
- ・ Fing (AndroidまたはiOS)
- ・ Advanced IP Scanner (Windows)
- ・ Bonjour (macOS)
- ・ Avahi (Linux OS)

サーバーのIPアドレスが確認できたら、サーバーと同じネットワークに接続されたコンピューターまたはモバイル端末で、好きなウェブブラウザを立ち上げて、ブラウザのアドレスバーに以下を入力してください(括弧<>は含めないでください)

<http://<サーバーのIPアドレス>/admin>

例: <http://192.168.1.110/admin>

数秒後、サーバーから応答があり、ログイン画面(図2A)が表示されます。ユーザー名には「admin」と入力し、パスワードにはサーバーのパスコードを入力してください(図2B)。



図2A : サーバー管理ログイン画面

図2B: ユーザー名には「admin」と入力し、パスワードにはサーバーのパスワードを入力してください。

ステップ3

ネットワーク設定の閲覧

ログインに成功すると、初期画面(図3A)が表示されます。「ネットワーク接続」をクリックすると、現在のサーバーのネットワーク設定を閲覧できます(図3B)。「ホーム」をクリックすることで、いつでも初期画面に戻ることができます。

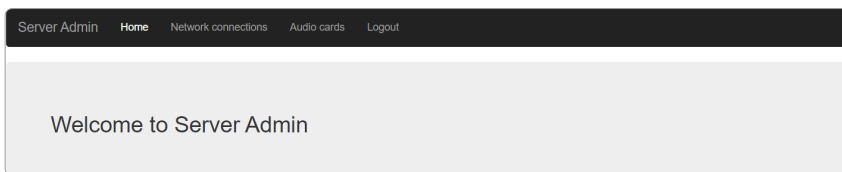


図3A : サーバー管理初期画面

Actions	Device Id	Hardware address	IPv4 address	Netmask	Gateway	DNS name servers
Edit IPv4 configuration Edit DHCPv4 server configuration	eth0-ipv4	00:1E:06:36:7B:37	192.168.1.110	255.255.255.0	192.168.1.1	192.168.1.1

図3B : ネットワーク接続画面

ネットワーク接続画面では、次の情報が表示されます(図3B)。

- ・ **端末ID** : 最初の部分は、Listen EVERYWHEREサーバーのEthernetインターフェースのポート番号を表します(Ethernetポート0)。2つ目の部分は、使用されているインターネットプロトコルバージョン4(IPv4)を表します。端末IDは読み取りのみが可能で、変更はできません。
- ・ **ハードウェアアドレス** : サーバーの固有Ethernet/MACアドレス。変更はできません。サーバーの下部にも印字されています。
- ・ **IPv4アドレス** : サーバーの現在のIPアドレス。一般的にはネットワーク上のDHCPサーバーが割り当てます。IPv4は「IPv4設定を編集」をクリックすると変更できます。
- ・ **ネットマスク** : サーバーの現在のネットマスク。一般的にはネットワーク上のDHCPサーバーが割り当て、ネットワークの作成と管理に用いられます。ネットマスクは「IPv4設定を編集」をクリックすると変更できます。
- ・ **ゲートウェイ** : インターネットに送信されるトラフィックなど、他のネットワークに送信される全てのトラフィックのIPアドレスとセントラルノード。一般的にはネットワーク上のDHCPサーバーが割り当てます。ゲートウェイは「IPv4設定を編集」をクリックすると変更できます。
- ・ **DNSサーバー** : ドメイン名をインターネットIPアドレスに変換するのに用いられるDNSサーバーの単一または複数のIPアドレス。一般的にはネットワーク上のDHCPサーバーが割り当てられますが、「IPv4設定を編集」をクリックすると変更できます。

ステップ4 ネットワーク設定の編集

ローカルネットワークのIPv4を設定するには、画面左の「IPv4設定を編集」ボタンをクリックしてください。サーバー管理インターフェースは、ネットワーク設定ページを開きます(図4)。

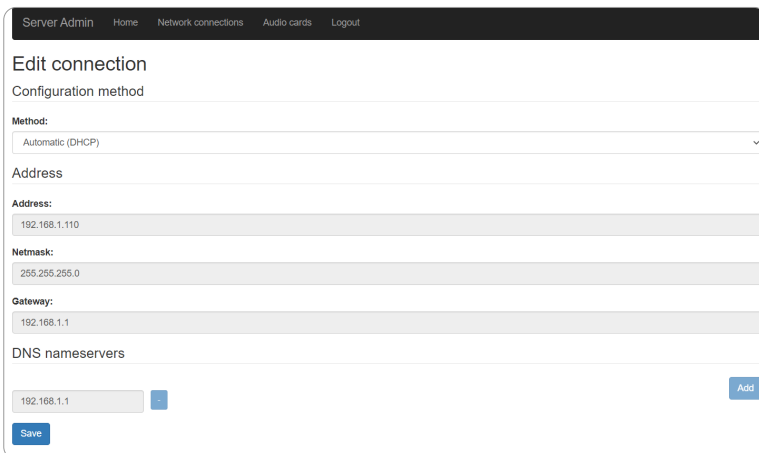


図4：ネットワーク接続編集画面

サーバーのIPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、およびDNSサーバーを編集するには、「方式」ドロップダウンを「固定」に変更する必要があります。これで、各フィールドが編集可能になります。

- ・ **アドレス**：このボックスに固定IPv4ネットワークIPアドレスを入力してください
- ・ **ネットマスク**：Listen EVERYWHEREネットワークのIPv4ネットマスクを入力してください
- ・ **ゲートウェイ**：サーバーがインターネットにアクセスするためのIPアドレスを入力してください。インターネットにアクセスすることで、Listen EVERYWHEREクラウドサービスを使ってサーバーをカスタマイズすることができます
- ・ **DNSサーバー**： 使用したい単一または複数のDNSサーバーのIPアドレスを入力し、青い追加ボタンをクリックすると、新たなDNSサーバーを追加できます。既存のDNSサーバーを削除するには、青いマイナスボタンをクリックしてください。

画面左下の青い「保存」ボタンをクリックすることで、サーバーへの変更を保存できます。アプリケーションを閉じる旨の警告が表示され(図5)、ネットワーク設定が行われる間サーバー管理インターフェースにアクセスできなくなります。

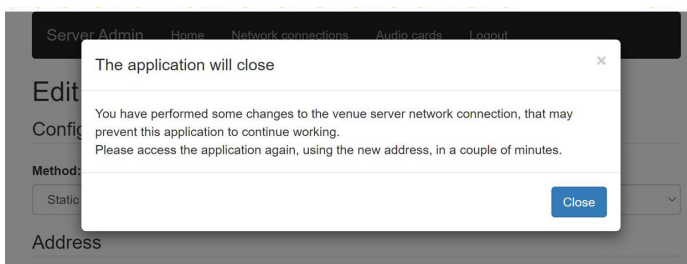


図5

サーバーのネットワーク設定が、現在のサブネットを超えて変更された場合、さらに設定したり利用したりするためには、サーバーを当該の意図するサブネットに接続する必要があります。

サーバー管理インターフェースにIPアドレスを用いてアクセスした場合(ステップ2、方法2)、再度ログインするには新たなIPアドレスが必要になります。サーバーIDを用いてアクセスした場合(ステップ2、方法1)、ページを再読み込みするだけで再度ログインできます。

フロントパネルの青いLEDは、サーバーおよびネットワークで特定の状況が発生していることを通知します。詳しくは図10をご覧ください。

DHCPサーバーの設定

Listen EVERYWHEREサーバーは、DHCPサービスを提供するよう設定することもできます。これは、既存のDHCPサーバーが利用できない状況でListen EVERYWHEREのためにスタンドアロンネットワークを作成する場合に役立ちます。DHCPサーバーとして設定された場合、サーバーは接続された全ての端末に対して、IPアドレスとリース時間を割り当てます。Listen EVERYWHEREサーバーをDHCPサービス用に用いる場合、サーバーも接続された端末もインターネットにアクセスできなくなることにご注意ください。スタンドアロンネットワークでインターネットにアクセスしたい場合、DHCPサービスが有効化されたルーターを用いることが推奨されます。

DHCPサービスを有効化する方法：

ネットワーク接続インターフェースで、画面左の青い「DHCPv4サーバー設定」ボタンをクリックしてください。これで、サーバー管理インターフェースからDHCPサービスを有効化できます(図6)。

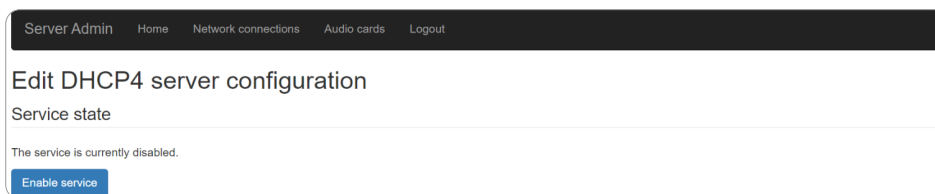


図6

青い「サービスを有効化」ボタンをクリックしてください。DHCPサービスが有効化される旨のポップアップメッセージが表示され、デフォルト設定が適用されます(図7)。

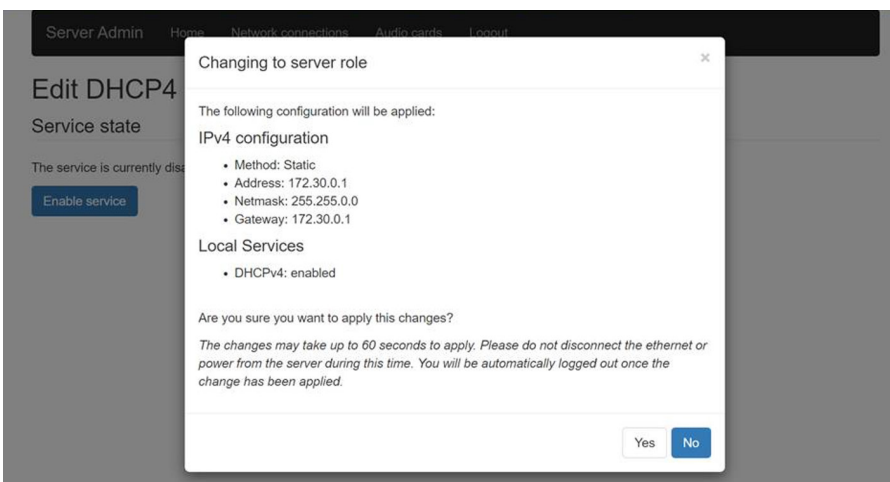


図7

「はい」をクリックすると、サーバー管理インターフェースから切断されます。この段階で、Listen EVERYWHEREサーバーは、DHCPサービスの提供先となるネットワークに接続する必要があります。さらに設定するには、コンピューターまたはモバイル端末を当該の新たなネットワークに接続し直して、サーバー管理インターフェースに再接続する必要があります。また、Ethernetケーブルでコンピューターを直接サーバーに接続することもできます。その場合はサーバーがコンピューターにIPアドレスを割り当てます。その後ブラウザで、サーバーIDまたはサーバーの新たなIPアドレス(デフォルトでは172.30.0.1)を使って接続できます。再接続ができれば、DHCPサーバーのパラメーターを編集できます(図8)。



Server Admin Home Network connections Audio cards Logout

Edit DHCP4 server configuration

Service state

The service is currently enabled.

[Disable](#)

Service configuration

Start:

End:

Lease time

[Save](#)

図8

ゲートウェイが172.30.0.1に設定されているので、IPアドレスの開始アドレスと終了アドレスはサブネット172.30.0.0/16の範囲内である必要があります。

開始アドレス： デフォルトは172.30.0.2です。このアドレスは、サーバーが割り当てる最初のIPアドレスを指定します。

終了アドレス： デフォルトは172.30.255.254。このアドレスは、サーバーが割り当てる最後のIPアドレスを指定します。

リース時間： デフォルトは24時間。これが、各クライアントのリース時間となります。秒(s)、分(m)、または時間(h)で指定できます。

画面左下の青い「保存」ボタンをクリックすることで、サーバーへの変更を保存できます。

フロントパネルの青いLEDは、サーバーおよびネットワークで特定の状況が発生していることを通知します。詳しくは図10をご覧ください



ステップ5 サーバー管理インターフェースからのログオフ

サーバーの管理が完了したら、画面上部のログアウトメニューをクリックしてください。

潜在的な設定ミスおよび復旧方法

サーバー管理インターフェースは、IPv4アドレスの設定時に、一般的な設定ミスを検知して、ユーザーに警告を行います(図9)。エラーメッセージは、修正が完了すると消えます。

全てのネットワークの設定ミスを検知できるわけではないことにご注意ください。一部の設定ミス、例えばネットワーク上でIPアドレスが競合する場合などは、設定が保存されてサーバーが再起動して、初めてエラーが発生します。このようなエラーが発生した場合、フロントパネルのLEDステータスランプがパニックモードで点滅し、サーバーのネットワーク設定が正しくなく、ネットワーク上で通信ができない旨の警告が出ます。これが発生した場合、サーバーは5分後に、既知のDHCP設定を復元します。

Server Admin Home Network connections Audio cards Logout

Edit connection

Configuration method

Method: Static

Address: 192.168.1.1101
Must provide an IPv4 address for the connection address

Netmask: 255.255.255
Must provide an IPv4 address for the connection netmask

Gateway: 192.168.1
Must provide an IPv4 address for the connection gateway

DNS nameservers

192.168.1.1 Add

Type an IPv4 address
Must provide an IPv4 address for a DNS nameserver

Save

図9 :
エラーメッセージ



フロントパネルのLEDステータスランプ

Listen EVERYWHEREサーバーには、フロントパネルに青い電源LEDランプが搭載されており、サーバーとネットワークの状況に応じて、特定の間隔で点滅するように設定されています。これによって、サーバーの状態を素早く確認できます。点滅間隔とモードは、以下の図10に記載されています。

図10

間隔	モード	詳細
1秒に1回点滅	初期化モード	サーバーは起動中またはネットワーク接続を待機中です
LED常時点灯	DHCPクライアントモード(デフォルト)	サーバーのDHCPアドレスは正しく設定されています
4秒ごとに2回点滅	固定IPモード	サーバーの固定IPアドレスは正しく設定されています
4秒ごとに1回点滅	DHCPサーバーモード	サーバーはネットワークに対してDHCPサービスを提供しています
1秒に2回点滅	パニックモード	サーバーには対処が必要な問題が発生しています